

- 台風が近づいている！
- 川の水がどんどん増えてきている！
- 自宅がハザードマップの浸水想定区域にある！

★ 安全に避難するためには・・・！

マイ・タイムラインの作成例

小学生向けの記載例

家族構成

4人家族【お父さん、お母さん、おじいちゃん、私(小学生)】

生活環境

自宅周辺は最大3メートルの浸水が想定される

※あくまで一例です。

自分用のマイ・タイムラインを作成するための参考としてご利用ください。

『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！

「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえをいつから行動するが、書いてみよう！

みんなが考えた「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでのそなえが『マイ・タイムライン』だよ！

市・区・町・村	地区	家	マイ・タイムライン	作成年月日	年	月	日
3日前	行政から発出される情報 ■ 嵐：気象・水害情報 ■ 声：河川管理者 ○ 台風予報 ○ 台風に関する都道府県の気象情報(随時)	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで 台風が発生 天気予報で台風ができてきてるよ。 まだ雨や風は強くないね。	台風について調べ始める ・天気よほうを見る ・ハザードマップを見てどこにひなんするか確認する ・家族のこれからの予定を聞いてみる ・体温を測り、熱がないか確認する	台風の進む方向や、住んでいる地域にいつ、一番近づくのか確認してみましょう。 ハザードマップの見方がわからないときはおうちのの人に聞いてみよう。			
2日前	大雨注意報・洪水注意報 ○ 台風に関する今後の見通し	台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる 雨や風が強くなる お出かけは大変だね。	避難する時に持っていくものを準備する ・マスクや消毒液、体温計、スリッパなどを持っていく	たくさん持っていくと重くなってしまいます。本当に大事なものを選んでおきましょう。			
1日前	大雨警報・洪水警報(上流域での大雨特別警報) 水防団待機水位到達 氾濫注意水位到達	雨が降って、川の水がだんだん増える 自分がいるところで降ってなくても、上流で雨が降れば川の水は増えてくるよ。	住んでいる所と上流の雨の量を調べる ・テレビのdボタンを押して、調べる 川の水位を調べる ・ハザードマップをみて、近くの川を確認する ・インターネットで「川の防災情報」(国土交通省ホームページ)や「茨城県河川情報システム」(茨城県ホームページ)を見て、川の水位を確認する	テレビのデータ放送(dボタン)を使えば、いつでもいろいろな地域の天気やこの先にふる雨の量も確認できます。 川の水が増えていて危険です。川の様子はインターネットなどで確認し、見に行くことは絶対にやめましょう。			
5時間前	避難判断水位到達 避難準備情報発表	激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる このまま進めると、川の水があふれるかも。	避難しやすい服装に着替える ・動きやすいつづをはく (・けいたい電話の充電をする)	インターネットを使いこなしていない人は、使い方をうちのひとに聞いたり、うちのひとと一っしょに調べてみましょう。			
3時間前	警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始 避難危険水位到達 避難危険情報発表	もうざりざり、川の水があふれる前に、避難しよう！	安全なところへ移動を始める ・家族で一っしょにひなんする	インターネットを使いこなしていない人は、使い方をうちのひとに聞いたり、うちのひとと一っしょに調べてみましょう。			
0時間	警戒レベル4 避難勧告 避難指示 ひなんかんこく・ひなんしじ 氾濫が発生 氾濫発生情報 緊急連絡メール 緊急が発生した情報	川の水位が急激に上がって、街中が水びたし、こうなると動けないぞ！	避難完了 (・家族にどこにひなんしたかを連絡する)	・台風が接近すると、雨や風がより強くなります。早いうちにひなんを始めましょう。 ・市町村から警戒(けいかい)レベル3の「避難準備・高齢者等避難開始(ひなんじゅんぴ・こうれいしゃとうひなんかいし)」が発令されたらひなんを始める1つの目安です。 ・テレビのデータ放送やインターネットなどでひなん所が開いているか確認しましょう。 ・家族が仕事で一っしょにひなんできないときは、近所の人と一っしょにひなんするなど、どのようにひなんするかを家族や近所の人と相談しておくことも大切です。			

市町村が発令するひなん情報(けいかい) (警戒レベル3)です。

水が来るかもしれない地域に住んでいる人のうち、お年寄り等で避難に時間がかかる人は早めに避難しましょう。

市町村が発令するひなん情報(けいかい) (警戒レベル4)です。

水が来るかもしれない地域に住んでいる人は基本的に、全員が安全なひなん場所や親せきの家などへひなんしたり、2階以上の安全な建物にひなんするなど身を守るための行動をとりましょう。

※市町村がひなん情報を発令するタイミングはイメージです。本当の洪水時とはちがうことがあります。

※あくまで1つの例です。災害はマイ・タイムラインで考えたとおりに進むとは限りません。ひなんするためのさんこうと考へ、本当に災害が近づいている時は気象情報やひなん情報をこまめに確認し、適切にひなんしましょう。

・熱がある時や気分が悪いときは、家族や一っしょにひなんする人に相談しましょう。

・マスクを着けてひなんしましょう。